



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

大阪の修学旅行生が歯舞漁協の漁業者宅に民泊

「北方領土を目で見る運動」修学旅行誘致事業で大阪教育大学付属高校天王寺校舎の生徒23人が根室を訪れ、全員が漁業者宅他に民泊しました。歯舞漁協と組合員の全面協力により実現したもので、宿泊先は歯舞漁協組合員の4家庭。施設見学や根室西高校との交流後、5~8人のグループに分かれて宿泊先となる漁家や番屋へ向かいました。

3世代11人の大家族が出迎えた豊里の中陳さん宅には、女子生徒5人が宿泊。食卓には、水揚げされたばかりのサンマづくしメニューのほか、ホッカイシマエビ、花咲ガニ、カスベなどが並びました。生徒たちは、「初めて見る食べ物ばかりで、どれもおいしい。ホームステイも楽しい」と笑顔で話してくれました。

また、温根元にある東栄漁業部(代表 南出 利春さん)の「番屋」では、男子生徒5人が宿泊。石狩鍋や焼きサンマ、サケフライなどが提供され、根室の水産業への理解が進んだようです。

翌日には、豊里地区の村内 茂さんの協力でエビを引き揚げる「漁業体験」と「エビの生態について」の講義をして頂いた後、朝食(海鮮バーベキュー)を食べお腹いっぱいになり満足していました。

北方領土返還運動の担い手の育成と、根室との交流拡大を目的としたこの運動ですが、今後も民泊などを通じて拡大していくことが期待されます。



<エビの引き揚げを体験>



<宿泊先で記念撮影>



<宿泊先では、歯舞の海の幸が山盛り>

根室市移住体験ツアーで『コンブ干し体験』

- 『移住体験ツアー』（根室市移住交流促進協議会主催）が9月12日(水)～14日(金)に開催されました。ツアーには7人が参加し、13日には、昆布漁業部会の志和部会長の家でコンブ干しを体験。
- 志和部会長らのアドバイスを受けながら、コンブを丁寧に並べました。
- 当日は、9月としては異例の最高気温27度を記録し、炎天下での作業となりました。参加者は、慣れない作業と暑さに疲れをみせながらも「楽しかった」と話し、貴重な体験となったようです。また、製品になったコンブの見学や北方領土の視察なども行われました。
- 昆布干し体験の後は、当組合の食堂で昼食をとり、旬のサンマや煮エビ等に舌鼓を打っていました。

＜志和部会長の指導でコンブ干し体験＞



＜組合食堂での昼食＞



大阪の百貨店「大丸心斎橋店」に「歯舞まかない食堂」を出店

- 「秋の大北海道市」が大丸心斎橋店で9月12～24日に開催され、歯舞漁協は一番の目玉として、会場に食堂を開設しました。
- サンマを中心にしたメニューの中で、あぶり焼き定食、刺身定食が特に人気が高く、生サンマ（1匹300円）の売れ行きも好評でした。
- 今回提供したのは、今年ブランド化を始めた「氷温歯舞さんま」で、根室で獲れたてのサンマを1日100キロ近く空輸し、小平女性部長たち3人がコーナーに立ってPR販売しました。歯舞水産物ブランド化推進協議会では、来年度以降も積極的に出店する予定です。



＜「歯舞まかない食堂」前で、歯舞の特産品を販売＞

『ねむろ水産フェスタ』を歯舞漁港屋根付き岸壁で開催

- 連合の「2012 平和ノサップ集会」が9月9日(日)、全国各地から会員約1,000名が参加して納沙布岬・望郷の岬公園で開催されました。漁協では、会員650名分の昼食を受託して、昨年の「根室うまいもん祭り」から「ねむろ水産フェスタ」と名前を変えて開催しました。
- 昨年に引き続き屋根付き岸壁の下で、棹前結び昆布、煮えび、ホタテバター焼き、花咲ガニの鉄砲汁など全部で11品を提供しました。正午から午後2時までの2時間で650人に食事を提供するため、前日からの準備、当日の朝7時半からの会場設営、後片づけまで大変でしたが、無事に終了しました。皆さんにとっても喜ばれ、歯舞水産物を全国にPRすることができました。



＜650人が歯舞水産物を堪能しました＞

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■ 編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

